



令和3年度の学力向上対策の取組はこちらです

県教育委員会では、児童生徒の学力向上を佐賀県教育の最重要課題として捉え、そのために必要な取組を行っています。各学校においては、次の4つの取組を柱に、児童生徒の学力向上に向けた取組の推進をお願いします。

1 全職員による共通理解と共通実践

- ・全職員で、学力向上対策評価シートの課題解決に向けた取組内容を共通理解
- ・学年や教科の壁を越え、取組内容を全職員で共通実践

2 学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践

- ・授業改善リーフレットの活用の徹底
- ・児童生徒が主体的に取り組む授業による学習内容が分かる授業、力がつく授業の実践

3 授業改善に向けた校内研修等の充実

- ・課題解決に向けた教材研究や評価問題作成などの研修会の一層の充実
- ・日々の指導状況や児童生徒の理解度の振り返りを確実に実施

4 家庭学習の充実に向けた指導の徹底

- ・PTAとの協働による『家庭学習の手引き』の活用の徹底
- ・家庭における適切な学習時間の確保
- ・家庭学習の進め方の指導や内容の工夫改善



PDCAサイクルを意識した取組を進めていきましょう！

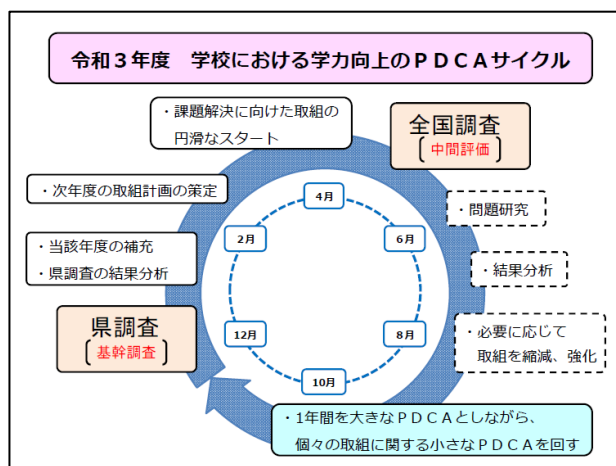
学校における学力向上のPDCAサイクルについては、前年度中に、県調査の結果から明らかとなった課題の解決に向けた取組計画（PDCAサイクルの「P」）の作成をお願いしています。

現在は、新しい体制のもと、取組内容を全職員で確認するとともに、必要に応じて修正や追加を行った上で、円滑なスタート（PDCAサイクルの「D」）をさせる時期です。

また、これら共通理解のもとに全職員で組織的に取り組んだ指導の効果を検証する機会が、5月と12月の学習状況調査（PDCAサイクルの「C」）です。

両調査とも、その間の取組等を評価する機会となることから、その評価を踏まえ、取組の改善が必要なものを洗い出し、必要な対策を講じること（PDCAサイクルの「A」）で、ステップアップを図っていくことが大切です。

今年度もこれらの意識をもって、計画的に子どもたちの指導にあたっていただきますようお願いします。



全国学力・学習状況調査（全国調査）が実施されます

全国調査は、「学校における学力向上のPDCAサイクル」の中で、中間評価の位置づけとなっています。調査の実施について、スケジュールや実施体制をもう一度確認の上、遺漏がないようお願いいたします。本調査の結果を活用して、**教育指導の充実や子どもたち一人一人への学習内容の確実な定着と必要な資質・能力の育成**を目指しましょう！

◆調査実施日 令和3年5月27日（木）

◆調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

◆調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年

◆調査内容

○教科に関する調査

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

平成31年度（令和元年度）調査からは、新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、**A問題**（主として「知識」に関する問題）と**B問題**（主として「活用」に関する問題）という区分を見直し、**知識・活用を一体的に問うこと**になっています。また、文部科学省は以下のように説明をしています。

「このような調査問題により調査を実施することによって、従来の調査と同様に、各教育委員会や各学校に対して、**学習指導要領に示される内容等を正しく理解するように促すととともに重視される力を子供たちに身に付けさせる**といった具体的なメッセージを示すこととなる」

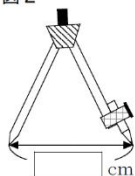
2 ゆかさんは、係活動でクラスの友だちにわたすために、画用紙を使って図1のようなメダルを作ることにしました。ゆかさんは、画用紙にコンパスを使って円をかき、メダルを作ります。

図1



(1) メダルを作るために、直径8 cmの円をかきます。図2のコンパスの先を何cmに開いて円をかくとよいですか。□にあてはまる数を、あとのアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

図2



- ア 4
- イ 8
- ウ 12
- エ 16

この変更を受けて、「佐賀県小・中学校学習状況調査」においても令和元年度から調査問題の一部で、令和2年度から全体で、その調査問題の在り方を見直しました。

右に示しているのは、昨年度の小学校4年生算数の大問2(1)です。身に付けた知識・技能を日常生活の場面と関連付けられた設定の下で出題をしています。



「家庭学習の手引き～保護者リーフレット」をご活用ください

県教育委員会では、「学ぶ力」の育成に向け、より保護者の目線に立って、具体的な事例を示した本リーフレットを作成しました。主なポイントは以下の3点です。

本リーフレットの主なポイント

ポイント1

- ・学習時間や学習の仕方等ではなく、子どもたちにとって将来にわたり必要な「**学ぶ力**」の育成に焦点をあてた内容にしています。

ポイント2

- ・「**学ぶ力**」の育成のために大切にしてほしいことを「**家庭学習の習慣化4つのススメ**」として整理し、具体的な声かけや関わり方についての例を載せています。

ポイント3

- ・「**家庭学習の習慣化を支えるわが家のひと工夫**」として声かけ例や関わり方の例を、QRコードやインターネット検索画面から検索できるようになっています。

① **家庭学習の手引き** 家庭学習の習慣化で、「学ぶ力」を育てましょう！

「学ぶ力」って、どんな力ですか？

「学ぶ力」を育てるためには、どんなことが必要ですか？

② **家庭学習の習慣化 に向けた 4つのススメ**

保護者として実際にどんな「声かけ」や「関わり方」ができますか？

例えば、こんな「声かけ」や「関わり方」をしてみはどうですか？

③ **～わが家の場合～**

④ **保護者の皆様へ（活用の一例）**

このページでは、③ページを活用した一例を紹介していますが、必要な内容を示したページを家族の目につく場所にはっていただくなど、ご家庭の状況にあわせて使い方をされても構いません。

ステップ1 「わが家の場合～」を作成し、家族の目につく場所にはりましょう！

ステップ2 記入したことを家族で実践しましょう！

ステップ3 「わが家の場合～」を振り返りましょう！

継続と徹底を！

※ QRコードやインターネット検索画面から検索すると、本リーフレットと併せて、様々な場面や状況に応じて自由に使用いただけるワークシート等を準備しています。そちらも、ぜひご活用ください！



家庭学習の習慣化に向けて保護者への啓発を図るために、保護者向け説明資料（データ）を作成し、4月に各学校へ送付しています。リーフレットを紹介する機会がありましたら、ぜひご利用ください。

「学力向上だより」についての感想などをお聞かせください。

「第〇号のあの記事が参考になった」、「こういった内容を取り上げてほしい」など、先生方の感想やご意見をぜひお聞かせください。お待ちしております。

また、「私の取組紹介」のコーナーでは、先生方の実践や授業アイデアを随時募集しています。自薦、他薦は問いません。どうぞお気軽に！

どちらも次のアドレスまで送信ください。

【アドレス】 gakuryoku-k@pref.saga.lg.jp